

問1 アフリカ大陸の気候区分を整理した資料において、地中海性気候が分布している範囲を説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 大陸の北回歸線や南回歸線付近に位置する、降水量が極めて少ない地域。 | 2. 大陸の北端にあたる地中海沿岸の地域と、大陸の南端にあたる地域。 | 3. サハラ砂漠の南北に広がる、乾季と雨季がはっきりと分かれる地域。 | 4. 赤道が通過する盆地を中心とした、年間を通して降水量が多い地域。 |
|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

問2 アフリカ大陸の北部などで見られる、山脈や河川といった地形に関わらず、緯線や経線を利用して定規で引いたように真っ直ぐに定められた国境を何と呼びますか。

(2022年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 自然的国境 | 2. 言語圏に基づいた国境 | 3. 経緯線を利用した国境 | 4. 民族の分布による国境 |
|----------|---------------|---------------|---------------|

問3 アフリカ大陸の地図を見ると、サハラ砂漠周辺の国々をはじめとして、国境線が緯線や経線に沿った直線状になっている場所が多く見られます。このような国境線が引かれた歴史的背景と特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。

(2018年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. アフリカの諸国家が独立する際に、民族間の争いを避けるため、あえて居住地域を分断するように山脈や河川に沿って引き直された。 | 2. 大規模な灌漑農業を行うにあたり、農地の区画整理を効率的に進める目的で、独立後の政府が緯線に基づいた国境を新設した。 | 3. 砂漠地帯では伝統的に放牧が行われていたため、家畜の移動ルートを確保しやすいよう、現地の部族同士の合意で直線が採用された。 | 4. かつてのヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布や地形を無視して、列強の都合で人為的に境界が定められた。 |
|---|--|---|--|

問4 世界の食料問題に関連して、アフリカで食料不足の懸念が特に強い理由を、人口と穀物生産の観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2019年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 砂漠化の影響で耕作面積が世界で最も狭く、穀物を全く生産することができないため。 | 2. 穀物の総生産量は世界で最も多いが、そのほとんどを他国へ輸出しているため。 | 3. 人口が急激に減少しており、農村部での労働力が不足して耕作放棄地が増大しているため。 | 4. 人口一人あたりの穀物生産量が、アジアやヨーロッパなどの他地域と比較して著しく低いため。 |
|--|---|--|--|

問5 アフリカ大陸の気候帯の構成に関する記述として、統計上で熱帯が約39%、乾燥帯が約47%と大陸の大部分を占めていることを踏まえ、この大陸の気候の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2020年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 乾燥帯が最も広い面積を占めるが、標高の高い地域には広大な寒帯が分布している。 | 2. 赤道付近から高緯度地域まで広がるため、亜寒帯から熱帯までの全ての気候帯が存在する。 | 3. 温帯が大陸の大部分を占めており、南北の両端にわずかに熱帯が見られる。 | 4. 熱帯と乾燥帯が大陸の大部分を占めており、亜寒帯や寒帯は存在しない。 |
|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|

問6 アフリカの国々の中には、ザンビアの銅やガーナのカカオのように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に国家経済の大部分を依存している国が多く見られます。このような経済構造を何といいますか。

(2023年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|----------|------------|------------|
| 1. モノカルチャー経済 | 2. 循環型経済 | 3. 輸入代替工業化 | 4. 知識集約型産業 |
|--------------|----------|------------|------------|

問7 西アフリカのガーナなどにおいて、輸出の大部分をカカオのような特定の農産物や鉱産資源に依存している経済構造のことを何と呼びますか。

(2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------------|--------------|------------|
| 1. 混合農業 | 2. ブランテーション農業 | 3. モノカルチャー経済 | 4. 知識集約型経済 |
|---------|---------------|--------------|------------|

問8 アフリカ大陸全域の資源分布を示した資料において、ブラチナ、マンガン、クロムといった鉱物資源と共通する特徴を持つ用語として、正しいものはどれですか。

(2020年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|--------|----------------|-------|
| 1. ボーキサイト | 2. 鉄鉱石 | 3. レアメタル（希少金属） | 4. 石炭 |
|-----------|--------|----------------|-------|

問9 2022年時点のケニアにおける輸出構造について、輸出総額74億ドルのうち、茶、切り花、野菜・果実の上位3品目が占める割合の合計として、適切なものはどれか。

(2025年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 輸出総額の1割（約10.2%）に満たない。 | 2. 輸出総額のほぼ全て（約95.8%）を占めている。 | 3. 輸出総額の半分（約52.0%）を占めている。 | 4. 輸出総額の3割（約35.5%）を超えている。 |
|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|

問10 アラブ首長国連邦の輸出統計において、1990年には原油が全体の74.7パーセントを占めていましたが、2017年には機械類が21.1パーセントで1位となり、原油は12.4パーセントに減少しています。このような変化は、同国がどのような経済状態からの脱却を目指していることを示していますか。

(2022年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|--------------|---------|
| 1. 加工貿易 | 2. 保護貿易 | 3. モノカルチャー経済 | 4. 自由貿易 |
|---------|---------|--------------|---------|

問11 アフリカにおいて、植民地時代に設定された直線的な国境がそのまま引き継がれて独立したことが、現在の社会にどのような影響を与えているか、述べたものとして最も適切なものを選びなさい。

(2015年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 直線的な国境により領土が明確に区分されたため、アフリカ諸国間では資源をめぐる対立がほとんど発生しなくなった。 | 2. 民族の分布を無視したことで、各国内で特定の民族意識が消滅し、早期に「国民」としての連帯感が形成されるきっかけとなった。 | 3. 本来は同一であるはずの民族が複数の国家に分断されたり、対立する民族が同一国家内に共存したりする状況を生み、紛争の一因となった。 | 4. 国境が地形に左右されないため、国境をまたぐ大規模な鉄道や道路などのインフラ整備が、他地域に比べて迅速に進む要因となった。 |
|---|--|--|---|

問12 サバナ気候に見られる「自然環境」と、それに関連する「観光業」の仕組みについての説明として、背景や因果関係が正しく述べられているものはどれですか。

(2021年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 短い夏にだけ草が成長するツンドラ地帯であり、トナカイなどの家畜とともに移動する遊牧民の生活を見学するツアーが中心である。 | 2. 乾燥した気候が続くため、森林が育たず砂漠化が進んでいるが、その過酷な環境を体験するアドベンチャーツアーが人気を集めている。 | 3. 雨季と乾季という周期的な降雨の変化によって広大な草原が維持され、そこを餌場とする野生動物が集まるため、野生動物観察を目的とした観光が成立している。 | 4. 一年中高温多湿であるため、多様な植物が生い茂るジャングルが形成され、貴重な熱帯の鳥類を観察する観光施設が整備されている。 |
|---|--|--|---|

問13 1960年にフランスから独立したマリ共和国は、人口の約3割を占めるバンバラ人や、セスフォ人など多様な人々が暮らす多民族国家です。この国で、各民族が独自の言語を持ちながらも、旧宗主国の言語であるフランス語を公用語としている理由として、最も適切なものはどれですか。

(2022年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|-----------------------------------|---|--|
| 1. アフリカ州のすべての国が、共通の公用語としてフランス語を採用しているため | 2. 国内で最も人口の多いバンバラ人の母語がフランス語であったため | 3. 独立する際の条件として、フランス政府からフランス語の使用を義務付けられたため | 4. 異なる言語を持つ民族間での意思疎通を円滑にする共通の手段が必要であったため |
|---|-----------------------------------|---|--|